

# 会 議 録

## 1 会議名

令和元年度第5回中郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### （1）協議（公開）

自主審議事項について

学校関係者との意見交換会について

視察研修について

### （2）報告（公開）

総合事務所時間外受付の見直しについて

ガス水道局南部営業所及び中郷区営業所の移転・統合について

### （3）その他（公開）

「上越市市議会女性フォーラム」の開催について

報告案件に対する会長の考えについて

中郷区公共交通懇話会の経過報告について

## 3 開催日時

令和元年7月25日（木）午後6時30分から午後9時05分まで

## 4 開催場所

中郷区総合事務所 第4会議室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：荒川清尊、岡田雅範、高橋京子、高橋達也、竹内昭彦、竹内靖彦、  
水嶋敏昭

・ガス水道局：施設整備課 石田正則参事、山中英明副課長  
総務課 山田敏寛課長、新部康晴副課長

- ・事務局：名倉浩中郷区総合事務所長、高波義明次長(総務・地域振興グループ長兼務)、横尾進市民生活・福祉グループ、教育・文化グループ長  
総務・地域振興グループ 内田明浩班長、藤井寿季主事

〔 以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グループは市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長はG長と表記 〕

## 8 発言の内容(要旨)

### 【内田班長】

- ・会議の開会を宣言

### 【高橋会長】

- ・挨拶

### 【内田班長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

### 【高橋会長】

- ・会議録確認：「竹内靖彦」委員と「高橋京子」委員に依頼。
- ・協議事項(1)の「自主審議事項について」事務局の説明を求める。

### 【内田班長】

- ・資料No.1に基づき説明

### 【高橋会長】

今ほど説明があったとおりである。学校関係者からの要望として中学校から1件、小学校から5件の要望提出があった。いずれも本来市で行うべきものであると思われる。協議事項の2になるが学校関係者との意見交換会も関連するので、併せて皆さんの意見等を求める。

### 【水嶋委員】

現場の確認はするのか。

### 【高橋会長】

出てきた要望に対して協議会で検討し、意見交換会で協議するというのがメインとなる。

### 【高橋会長】

事務局として出てきた要望についてどう思われているか。

#### 【名倉所長】

出てきた要望については単なる修繕であると考え。実際に本当に必要であれば、市として来年度予算に計上すべきだと考えている。精査し必要であれば、予算要求は行うが、全てが採択されるとは限らないので、それだけをご承知いただきたい。

#### 【高橋委員】

当初、「未来の子ども達に・・・」のテーマを策定した際に、小学校の体育館からの落雪が非常に危険だとして、市の予算が付かないのであれば、このようなものも含めて勝馬基金を使っていく方向でもどうかとの意見もあったが、私は、市の予算がきちんと付いて、市の事業として叶えられるべきではないかと考える。「未来の子ども達に・・・」のテーマを基にするのであれば、小学校の夕日ヶ丘、小学校であのような環境を持っているのは少ないと聞いている。未来の子ども達にあの環境を残して行くことを考えれば、立木の伐採整備は基金を充当してもよいのではないかと考える。その他の要望は、完全に市の予算で行うべきもの。

#### 【竹内(靖)委員】

所長より市の予算として計上していくと聞いて若干安心した。学校と教育委員会との予算のやりとりの中でどのくらいの順番待ちになっているかは分からないが、たとえば、グラウンドの排水改修は毎年予算要望を行っていて、あと2～3年後の改修予定であれば必要ないと思う。体育館の屋根修繕も同じく予定されているとすれば勝馬の基金を使う必要はないと思う。高橋委員が言われた立木の伐採整備については、考え方は良いと思うが、少し不安なところもある。勝馬の基金を使って夕日ヶ丘の整備を行ったとすると、結果として形に残ればいいが、5年、10年もすればまた荒れてくることが想定され、基金を充当するのは難しいかと考える。昔は、保護者とかPTAで伐採整備した記憶があるが、今はそういう状況にないと思われる。年に1～2回整備すればかなり違うが、なされていない状況である。自分の学校であったり、地域の財産なので地域の人たちも手を加えていただくような形が整わないと、伐採整備だけ行っても数年後には元に戻ってしまいテーマにそぐわないものとなる。

#### 【高橋会長】

協議会だけの協議では、学校関係者とのギャップが埋まらないので、やはり、意見交換会を行って協議会としての趣旨や思いを伝え、お互いの思いを摺り合わせてま

とめていくこととして意見交換会は開催すべきだと考えている。

**【竹内(昭)委員】**

高橋委員の言われた伐採整備は、竹内(靖)委員の話のとおり、何年かしたら元に戻るため、伐採整備については保護者、PTAで行い、無理であれば地域の人を呼び掛けたりとかの中で行っていくのもひとつだなと思う。小学校のプールは数年前から傷みが酷かった気がするが、整備はされているか。

**【竹内(靖)委員】**

整備はされていないと思う。

**【竹内(昭)委員】**

プールのように今回出てこなかったものもあるので、その辺の意見等を聞くうえでも意見交換会は開催することでよいと思う。

**【竹内(靖)委員】**

今回の要望以外にも市に要望している案件はある。今回の要望とのすみ分けはあるのか。

**【名倉所長】**

無い。事務局としても、単なる修繕ではなく、プラスαになるような未来の子ども達のためになるものということで提案を依頼している。学校側では思いつかず、高額な修繕の要望となったのではないか。

**【荒川委員】**

もう少し、教育面の関係で出てくるのかと思っていたが、修繕とか修理ということで残念である。南部地区は、小学校は無くなったが年1回は地元の方とかで草刈りを行っている。竹内(靖)委員からあったが、地元の方の協力を得れば、夕日ヶ丘も多少なりときれいになると思う。出てきた要望を見ると大体は市の責任で行うべきもので、それを1つでも勝馬の基金で行うと全部実施してほしいとなりかねない。それであれば、高橋委員が取り上げた夕日ヶ丘を未来の子ども達に残すための整備として行うのは、どちらかといえば良いかと思う。ただし、やはり地元の人と協力して行うことにプラスすることで考えた方が良く思う。

**【高橋会長】**

防犯週間があり町内の通学路で2日ほど立哨したが、中学校の送り迎えの車が頻繁に通る中で小学生が歩いているのを見ると、歩道が確保されていないので、グリーンベ

ルト（歩車道境界ゾーン）などの設置も必要かなと感じた。また、冬期間は日曹二本木工場のガード付近の通学状況を見ていると、危険だなと感じているので、その辺も考えていくべきとかと思う。

**【岡田副会長】**

工事関係についてはやはり市が基本的に行うものと思っているし、行うとしても竹内(靖)委員が言われたように月日が経てば分からなくなってしまうものなど諸々を考慮すると、図書館の整備を行ったらと考えている。

**【高橋会長】**

本日、出た意見としては非常に少ないが、議事録をまとめていただくとして、学校関係者との意見交換会はどうするか。お互いの認識のギャップを少し埋める必要があるかと思うが、そうしないと次に進めないのではないかと個人的には感じている。皆さんもサブテーマは「学校関係施設の改修や修繕等」となっているが、それ以外の事も考えていただいても構わない。また、副会長の提案である図書館云々に伴うは一とびあ中郷の有効活動なども考えられる。今回、発言いただいた皆さんの意見、本来、市で行うべき事業などについても検討することも含め、学校関係者との意見交換会を開催することによいか。

ー全委員賛同ー

**【内田班長】**

参集者について決めていただきたい。

**【高橋会長】**

小中学校、PTA、後援会より3～4名の出席をお願いしたい。行政については、グループ長までは出席願いたい。

**【高橋会長】**

特になければ、協議事項（1）の「自主審議事項について」は、これで閉じることとする。

**【高橋会長】**

続いて協議事項（2）の「学校関係者との意見交換会について」だが、今ほどいっしょに協議していただいたので割愛する。

**【高橋会長】**

続いて協議事項（3）の「視察研修について」事務局の説明を求める。

【藤井主事】

・資料N o. 2に基づき説明

【高橋会長】

今ほど説明があったとおりである。資料2に事務局からまとめていただいたがいか  
がか。

【高橋会長】

自分でもテーマを上げているが、2番の津南町の取組が良いと思う。

多数決による採決により津南町に決定した。

【高橋会長】

特にないようなので、協議事項（3）の「視察研修について」は、これで閉じるこ  
ととする。

【高橋会長】

次に、報告事項（1）の「総合事務所時間外受付の見直しについて」事務局の説明  
を求める。

【名倉所長】

・資料N o. 3、資料N o. 4に基づき説明

【高橋会長】

今ほどの説明について質問・意見等を求める。

【岡田副会長】

熊の対応だが、職員がいなくなってから、住民から連絡があった場合、翌日の放送  
になるということか。

【名倉所長】

熊の対応については、職員のいない時間帯に、中郷区に連絡が入ると自動で板倉に  
転送され、板倉の方から中郷の職員へ連絡が入り職員が登庁するという事となっ  
ている。職員の対応は変わらない。放送は、職員が来た時点で熊の情報を流すこととな  
る。

【岡田副会長】

放送はあるか。

【名倉所長】

ある。

【荒川委員】

たとえば、週2回とか3回とか当直を設けるということは不可能か。

【名倉所長】

年間の利用状況を見た中での判断なので、今は一律やめるとして考えている。

【高橋会長】

意見として伝えてほしい。

【名倉所長】

一番多いのは死亡届です。死亡届がここに出せなくなる。急ぐ場合は、板倉区へ出していただく形となる。住民票、印鑑証明については、7月1日からコンビニ交付ができるようになったので、マイナンバーカードを作れば利用可能となる。

【高橋委員】

救い上げてもらいたいのが、少子高齢化で少子もそうだが、高齢化してしまって、まず、安全メールを受け取れない方々がほとんど。高齢者ひとり世帯が多い中、安全メールでお知らせする内容をきちんとゲットするのは難しいと思う。テレホンガイドとかもあるが、その情報を高齢者の方々がきちんと受け取れるかということ、受け取れない方が沢山いることを念頭において、対応の検討をお願いしたい。

【名倉所長】

私もそれを心配している。高齢者に安全メールは難しいと考えてる。防災無線で流せないのは火災情報となるが、これに対してはテレホンガイドにより情報収集していただくこととなる。自宅の電話で専用ナンバーに掛けていただくのだが、相手は自動音声なので高齢者でも気軽に掛けることができると判断している。

【竹内(昭)委員】

中郷区の地域内の火災でも放送は無いのか。

【名倉所長】

その通りである。中郷区で発生した火災でも放送はしない。火災の情報を得るには、安全メールかテレホンガイドによるものとなる。

【竹内(昭)委員】

近くで救急車とか消防車がサイレンを鳴らして通過すると不安であり、特に、山火事などは放送があった方がいろいろな行動をとるにも必要なことだと考える。

【名倉所長】

本日は、意見を伺う場として説明をさせていただいた。いただいた意見は伝える。忌憚のない意見をお願いします。

**【竹内(靖)委員】**

市の危機管理とか本当にこれでいいのかと疑問がある。これから高齢化率が40～50%と上がり、地域の中で人とのコミュニケーションも薄くなっていくと、町内会の負担も大きくなり、防災に対する管理体制は本当に地域でしっかりと取り組む必要があるが、不安が拭いきれない。

**【高橋会長】**

それに代わる行政側としてバックアップがどのようなことがあるか示してもらえれば安心もできるのだが……。災害など火災も含めて、「知る」というのが、まず大事なことであり、今回の見直しでは、その「知る」ことを奪うようなことにも繋がっている。基本的には夜間の受付廃止は、行政サービスの低下である。今までより悪くなる。民間であれば、人口減少云々のためといわれればやむを得ないと思うが、行政は人口減少があっても行っていかなければならない。行政でなければ出来ないことだからというものが根本になければならないと感じている。この先どうなるかは分からないが、市民の生命と財産を守るのが行政でもあるし、いくら人数が少なくてもある程度は確保していただきたいと考える。

**【竹内(靖)委員】**

時間外受付は当然ある方がいいと思うが、先ほどの説明であった通り13区全部を集計すれば、かなりの税金が使われていことが分かるので、ここはやむを得ないのかなと思う。ただし、防災となると話は別だと思う。火災、地震となった場合に、高齢者世帯をケアできる体制を区分けして考えていく必要がある。

**【高橋会長】**

今までは、受付業務と防災業務そんな関係から2名体制で実施していたかと思うが、個人的な考えは、1人体制で対応してもらえないかと思っている。あと、上越ケーブルビジョンが完備されれば、高齢者でも情報を得ることができると考える。10区で1億近い予算の縮小ができるので、そんな関係への充当も考えられるのではないかと。

**【名倉所長】**

一番問題となるところは防災関係だと思う。たとえば、地震及び大雨、火災等の防災対応については、今まで通り職員が登庁するので、対応については変わらないが、今



回、何が廃止になったかという点、火災をお知らせする防災無線の放送が廃止となっている。この点が行政サービスの低下となるが、その代替として安全メールであったりテレホンガイドがある。火災時の放送が必要という意見については伝えたいと思う。

**【高橋委員】**

せめて、区内の火災の発生と大きな停電については放送してほしい。資料では、昨年の火災発生件数は0件である。頻発する熊の情報については職員が登庁して放送するのに、年に1件くらいなら区内の火災だけでも放送できるのではないか。

**【名倉所長】**

意見として伝える。

**【高橋会長】**

火災、熊、冬期間の列車の遅延、雪の情報などについて区民の方が納得してもらえようような対応を考えていただきたいと思う。

**【名倉所長】**

時間外受付よりも防災無線についての意見がいろいろあった。検討したうえで皆さんにお知らせする。

**【高橋会長】**

特にないようなので、報告事項(1)の「総合事務所時間外受付の見直しについて」は、これで閉じることとする。

**【高橋会長】**

次に、報告事項(2)の「ガス水道局南部営業所及び中郷区営業所の移転・統合について」事務局の説明を求める。

**【山田課長】**

・資料No.5に基づき説明

**【高橋会長】**

今ほどの説明について質問・意見等を求める。

**【水嶋委員】**

資料No.5-2の3番目のところで、現地時間到着とあるがこれは冬場の時間ではない。雪の無いときの時間。

**【山田課長】**

平常時のものである。

【水嶋委員】

中郷までの時間が23分とあるが、冬場（夜間など特に）については、この時間では到着できないと思う。もう1点、このマイコンメーターの点滅対応とは個人宅か、集会場とか公民館ではないのか。

【山田課長】

ここで2件あげてあるが、個人宅のものである。

【竹内(靖)委員】

機動力の強化ということで、一定規模の職員の配置で技術職、専門職の増員を考えているとか、また、その統合を行うことによって職員の負担が大きくなるのではないかと心配な面もある。数年前に、産業建設グループが中郷から板倉へ集約され、現在は通常通り業務を行っているが、集約されて良かったかという区民はほぼ良くないと回答すると思う。地域との関係が薄くなっており、板倉では話が遠いとの声も聞かれている。こういう実情も踏まえて今回のガス水道の統合には、危惧しており、先ほどの受付業務の件ではないが、災害がないことを前提に計画を立てているようなことであれば、危機管理をしっかりしてもらいたい。

【石田参事】

統合することで技術力の担保はどうなるのかというような質問があったが、現在の状況では、職員が3人のところ、災害とか大きな漏水などで人手が足りない場合は本局より職員を派遣すれば人間の数としては増えるが、実際には、中郷の実情、町名であったり、水道管・バルブの位置だとかの話をして、本局から来た人間ではなかなか通じないのが実際のところである。そのような中で、3人という形の中で働くよりは、9人という形の枠を広げることで9人全員が中郷区のことを知っている体制を作ることによって機動力の強化となる。また、現在は南部営業所では、ガスの事業は行っていないが、基本的に職員については、ガスも水道も両方対応できるように年間数回の教育も行っている。南部営業所にもガスに携われる人間がいるので、十分な技術力は担保していると考えている。

【高橋会長】

目指すべき姿のところ、安全安心な都市ガス・水道水の安定供給と記載してあるが、安全安心のところを我々はなかなか払拭できない。先ほども少し水嶋委員からあったが、紛れもなく、初期対応においては遅延が発生する。20分という見方をしている

るが、広域災害となった場合は、道路状況も悪いし、20分では無理ではないか。今まで、3分で対応していたのが、20分遅れてしまう。初期対応が遅延するということは、災害が拡大することとなる。1人でもまず駆けつけて初期対応をすることで、後方隊が来るのを待つということも出来る。それが20分以上遅れての対応となると不安となってしまう。今回の説明の中では、そういうところが中々見えてこない。ガス水道ライフラインは非常に大事な分野だと思う。最低限、区民の皆さんに「安心」をどう説明することができるのかが、ポイントとなってくると思う。

#### 【石田参事】

会長の意見については、まったくその通りだと思う。1つは、事務所が遠くなるので、初期対応に時間がかかることについては、確かに距離だけでいえば、紛れもない事実である。では、どう対応するのかといえば、現在、中郷区には3人の職員を配置している。必ず1人は電話番という形で留守番となる。現場対応できるのは2人となるが、常に事務所で待機している訳ではないため、2人とも他の現場で作業中となると、連絡を受けても、すぐ対応できるかとなると、叶わないところも出てくる。そうした中で概ね、今、私どもが考えている時間として初期対応に30分程度はかかるとしている。実際、旧上越市においても、一番遠い西田中では、距離にすると10数キロ、車で約30分弱くらいとなる。そのような中から目安として概ね30分程度としている。それで、冬期間、雪が降った場合には、当然遅くなるのが十分考えられる。ただ、試算の場合では、平時の状態ですべて約30分程度と考えている。中郷区と同じような統合を他でも行っている。大潟区を柿崎区に統合した際にも、地域の皆様から事務所が無くなる不安だという声もあったが、その後1年以上経つが、きちんと対応しているためか苦情などはない状況である。初期対応については、できるだけ早い対応で行いたいと考えている。

#### 【水嶋委員】

先ほどから説明を聞いているが、また、時間外受付の関係もそうだが、経費削減のための見直しであるとしか受け取れない。中郷区で3人で心配であれば、中郷区に増員してから様子を見ることとしてもよいのではないかと。

#### 【石田参事】

ガス水道局は売上で事業が成り立っている。水道とガスをお客様に買っていただきはじめて事業が成り立っているため、行政とは少し違い、企業に近い状態である。そん

な中で、今申されたように人数を増やすと対応力も上がり、一番安心ではある。限られた人間、人数の中で、より対応力を上げるという中では、少ないよりは多い方がいいと考えている。東北大震災の時に上越市内の災害対応に当たった際に感じたことは、その土地のことを全然知らない人数を増やしても、知っている人間がいないと対応できない。そんな事から、人を集めて、知っている人間をより多く派遣できる体制を作ることが、初動の段階では遅くなるが、現場に到着してからの機動力は計り知れないものがあると考えている。企業ということからすぐに増員とはならない中で最善の対応として今回の統合となっていることにご理解をいただきたい。

**【水嶋委員】**

上越市は中郷区と同じ都市ガスなのか、プロパンではないのか。

**【石田参事】**

ガスを供給しているのは、柿崎区・大潟区・旧上越市と中郷区である。

**【高橋委員】**

ご説明いただいたことは概ね理解した。また、統合が必要だということも企業体としての収支の点からも理解はできた。ただ市民として一番反感を抱いたのは、「なお、29年度から当時の大潟区営業所を北部営業所へ統合した際の住民説明会において、移動時間が長くなることへの心配の声をいただいたところですが、これまでに、統合に伴う問題は発生しておらず、苦情もいただいておりません」この部分には私は一番腹立たしさを感じた。たとえば、東日本大震災があの日にかかるなんて誰も思っていなかった、そんな中で大災害が発生する、「発生していないから苦情もいただいていない」では、この状態が未来永劫続くのかということ決してそうではない、私たちはあの災害から学んでいる。一番大事なことは、到着が20分遅れることの状況の説明ではなく、待っている側がどんな情報が欲しいのかなどを考えて、待っている側の住民が安心できるような説明の内容のチラシを作成してほしい。

**【山田課長】**

申し訳ない。意図は、最近同じような事例があったということをお知らせしたかったもの。今後、ご指摘のとおり、受け取られる側に立って作成したい。

**【石田参事】**

どうしても作る側の視点で書いてしまう部分があり、受け取る側がどのような情報を求めているかということについて足りなかったと思う。これからの中で丁寧に説明

していきたいと考えている。

【高橋会長】

今後、住民説明会とか、どんな予定なのか、スケジュールを教えてください。

【山田課長】

今後、中郷区の皆さんや、他の地区の皆さんからご意見をいただくことがあると思う。その際には、事務所に連絡をいただければ、個別に対応させていただく。住民説明会などは考えていない。説明会の要望があれば、あらためて対応する。

【高橋会長】

我々は地域協議会として説明は受け、意見要望を申し上げたが、住民から理解を得たり、意見要望などは個別対応でしかないのか。

【山田課長】

町内会長の皆様には先日説明した。意見要望について中郷区営業所に問い合わせいただければ、回答する。

【石田参事】

先ほど高橋委員から言われた、受け取る側に立った説明をしたいと思うが、全員を集めた説明会は難しいと考えている。今、ガス水道局が行おうとしていることについては、お知らせを配ることで説明していきたいと考えている。市民の方がより安心できる形で説明したいと考えている。

【高橋会長】

本日は何名か所要により欠席している委員がいるので、その委員も含め協議し、何らかの形でまとめあげたいと考えている。

【高橋会長】

特にないようなので、報告事項(2)の「ガス水道局南部営業所及び中郷区営業所の移転・統合について」は、これで閉じることとする。

【高橋会長】

事務局他に何かあるか。

【内田班長】

・「上越市市議会女性フォーラム」の開催について報告

【高橋会長】

委員の皆さんから、何かあるか。

私から、4区合同研修会について報告する。4区合同の研修会で上南地区の活動資金づくりということで、非常に参考となるものがあつたので資料を配布した。

#### 【高橋会長】

先ほどの受付業務廃止云々とガス水道局統合案件について、会長としての思いを説明したい。「ガス水道中郷事業所の統合案件については、もともと中郷区にあつた事業所について廃止し、統合する件については、支援体制の点だけがクローズアップされているが、統合することにより、初期対応の遅延はまぎれもない事実で、それに伴う災害の拡大が懸念される。

区内であれば約3分位で対応が可能なのに対し、統合した場合には20分ほどで対応可能といているが、災害時の道路状況や所員の勤務状況等によっては30分から40分位となる場合が考えられる。その時の対応次第では、まぎれもなく事業所統合による、システム上の欠陥が考えられる。その際の責任について、所在をはっきりさせていただきたいと考える。ガス水道事業においては、その施設並びに設備において、市民の財産であり、市は市民の安全と安心並びに生命と財産を守る立場にあると思う。

以上のことから、当案件をどうしても実施するというお考えであれば、災害時を想定しての支援体制を含む、初期対応シミュレーションを行うとともに、初期対応の遅延による災害の拡大時の責任についても明確に明記しておいていただきたいと考えている。

それが安全で安心な地域づくりで、いつまでも住み続けたい町づくりと考える。

この様な色々な面での統合に関しては、地方の切り捨てなのではないか、そしていずれは総合事務所までもと考えると区民の気持ちに対しての配慮はないのか。充実した支援体制（各事業所がそれぞれの働きをしながら全体としての統一を保てる関係）を考えるならば、まずは1名の増員による対応で経過を見て、その後における統合なのか継続なのかを考え、ステップを踏むべきと思う。

夜間・休日の受付業務の廃止については、市民サービスの低下である。

年間に数件しかないのであれば、基幹的総合事務所より出向いて対応できないのか。

また、夜間の守衛業務の廃止に伴っては、行政無線の遅延が考えられる。

その遅延や内容によっては、放送しない場合のサービス低下を区民にどのように説明するのか。痛みを分かち合う事務事業の見直しであるならば、財政面でメリットのあつた半分でも、区民に還元できる方法はないのか。そこが、いつまでも住み続けたいまちにするか、こんなに地方ばかりサービス低下をするのなら、このまちを離れたくないとい

う気持ちにさせてしまうような、地域づくりとしか思えない。10区全体で1億近い財政のメリットがある。その行先は中心市街地の地域だけに使われるのではなく、半分でもいいから10区の区民にも使える仕組み(別のサービス)がとれないのか。それが痛みを分かち合う関係ではないのか」以上のように私の意見をまとめた。皆さんもいろいろな意見を考えていただきたい。今回の報告案件については何らかの対応をとらなければと考えている。

**【竹内(靖)委員】**

協議会としてこのまま静観していくのか、会長のように書面に残すだけでいいのか、どのようにすればよいか。

**【高橋会長】**

協議会がまとめたものとして提出したい。

**【竹内(靖)委員】**

意見書としてか。

**【高橋会長】**

意見書とするかは別として、要望事項も含めて提出したいと考えている。

**【岡田副会長】**

7月16日に公共交通懇話会が開催され出席したので報告する。市からの報告としては、消費税の増額に伴う料金改定の話と、次期総合公共交通計画の検討状況と再編の方向性についての説明があった。中郷区の乗合タクシーの状況は、利用が少なく、このままであれば運行自体が継続できない状況となる。再編する案があればいいが、今のところ適当な案が無い中でアンケート調査などの結果を踏まえ、利用の多い便については定時運行をするなどの検討をしている。いずれにしても、利用者が少なくなれば廃止となるので、今後も継続していけるように皆さんも出来るだけ利用してほしい。

**【高橋会長】**

他に発言がないため、これをもって、本日の会議を終了する。

次回の会議は、8月29日(木) 午後6時30分から、学校関係者との意見交換を「中郷区総合事務所」で行うこととする。

(終了 午後9時05分)

9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165)

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。